

『日本ナショナリズムの歴史』全4巻（高文研 2017年10月刊）をテキストに、1年を通じて日本の近現代史を問い直します。I巻～II巻はHOWS2018年前期講座で修了し、今回の2018後期講座ではIII巻～IV巻を取り上げます。

12月8日(土) 13時～16時30分

『日本ナショナリズムの歴史』(梅田正己 著)
高文研刊
第Ⅲ巻を読む

——「神話史観」の全面展開と軍国主義（その1）

報告＝松岡慶一（HOWS受講生）



2019年

1月12日(土) 13:00～16:30

『日本ナショナリズムの歴史』(梅田正己 著)
高文研刊
第Ⅲ巻を読む

——「神話史観」の全面展開と軍国主義（その2）

報告＝清水由美子（団体職員）

2月16日(土) 13:00～16:30

『日本ナショナリズムの歴史』(梅田正己 著)
高文研刊
第Ⅳ巻を読む

——国家主義の復活から自民党改憲草案まで（その1）

報告＝藤原 晃（HOWS受講生、神奈川高教組）

3月23日(土) 13:00～16:30

『日本ナショナリズムの歴史』(梅田正己 著)
高文研刊
第Ⅳ巻を読む

——国家主義の復活から自民党改憲草案まで（その2）

報告＝廣野茅乃（HOWS受講生）

ゲスト＝梅田正己（高文研・前代表、書籍編集者、歴史研究者）

北欧文学はきびしい北方の風土を反映し、簡潔無比の文体のなかに人間のぎりぎりの生き方を見つめ表現したものが多い。今期はあまたの傑作群からよりすぐり、四作品を読む。今回はシリーズの二作目。

12月12日(水) 18:30～21:00

アンデルセン 作 「影法師」(岩波文庫『アンデルセン童話集』第三巻収録)

講師＝立野正裕（元明治大学教員）